

[成果情報名] 本県ばれいしょ及び葉菜畑土壤の過去25年間における交換性カリ、可給態リン酸含量の推移

[要約] 過去25年間において、ばれいしょ及び葉菜畑土壤中の交換性カリ含量は、ともに徐々に増加し、現在いずれも100mg/100g程度である。苦土カリ比 (Mg/K) は、いずれも徐々に低下し、2.0以下となっている。可給態リン酸は100mg/100g前後で大きな増減は見られない。

[キーワード] 土壤、露地畑、交換性カリ、可給態リン酸、ばれいしょ、葉菜類

[担当] 農林技術開発センター・環境研究部門・土壤肥料研究室

[連絡先] (代表) 0957-26-3330

[区分] 総合営農 (生産環境・土壤肥料)

[分類] 指導

[背景・ねらい]

肥料価格の高騰にともない土壤診断に基づくリン酸、カリの適正施肥が求められている。露地野菜畑の交換性カリや可給態リン酸の含有量は、地域、栽培品目、土壤によって異なり、これらの特徴を明らかにすることは、地域毎の施肥対策を講じる上で非常に重要である。そこで土壤機能実態モニタリング調査 (1979年から県下195地点で5年ごとに6回実施) 結果から、ばれいしょと葉菜類畑土壤の交換性カリと可給態リン酸含量の推移を捉え、今後の施肥対策のための基礎資料とする。

[成果の内容・特徴]

1. 本県畑地土壤中の交換性カリ含量は、過去25年間において、ばれいしょ畑、葉菜畑ともに徐々に増加し、現在いずれも100mg/100g程度である (図1)。
2. 苦土カリ比 (Mg/K) は、いずれも徐々に低下し、ばれいしょ畑では1984~87調査時点で、葉菜畑では1994~97調査時点で2.0以下となっている (図2)。
3. 可給態リン酸について大きな増減は見られず、100mg/100g前後である (図3)。

[成果の活用面・留意点]

1. ばれいしょ畑は春作・秋作の連作ほ場であり、葉菜畑はハクサイ、キャベツ等の葉菜類を年1作以上作付けするほ場である。
2. 本数値は複数ほ場の平均値であり、個々のほ場における施肥を判断する際には土壤診断が必要である。

[具体的データ]

地点の内訳

品目名	地点数	含まれる地区名
ばれいしょ	9	小浜町、南串山町、口之津町
葉菜類	10	田平町、松浦市、島原市、布津町

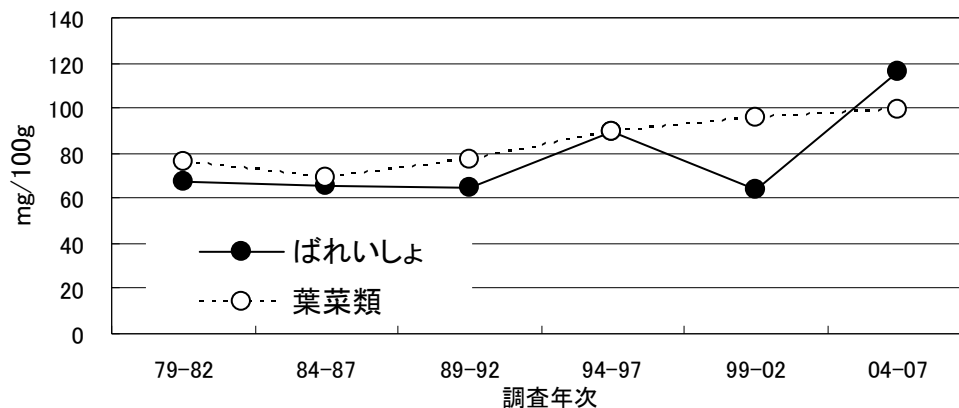


図1 本県畑土壌における25年間の交換性カリ含量の推移

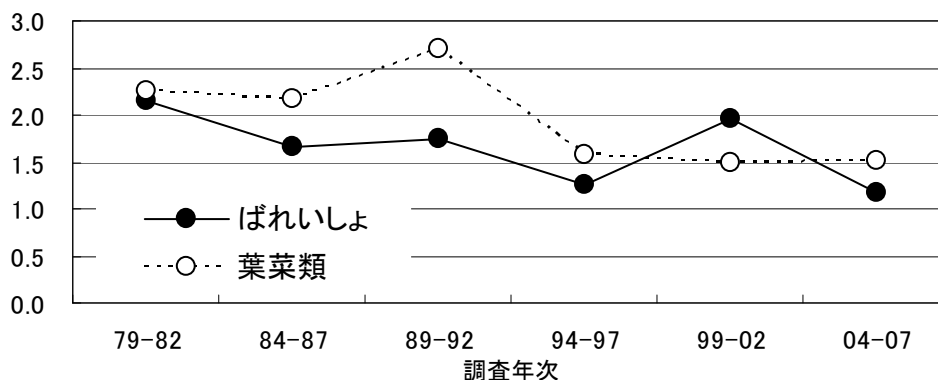


図2 本県畑土壌における25年間の苦土カリ比の推移

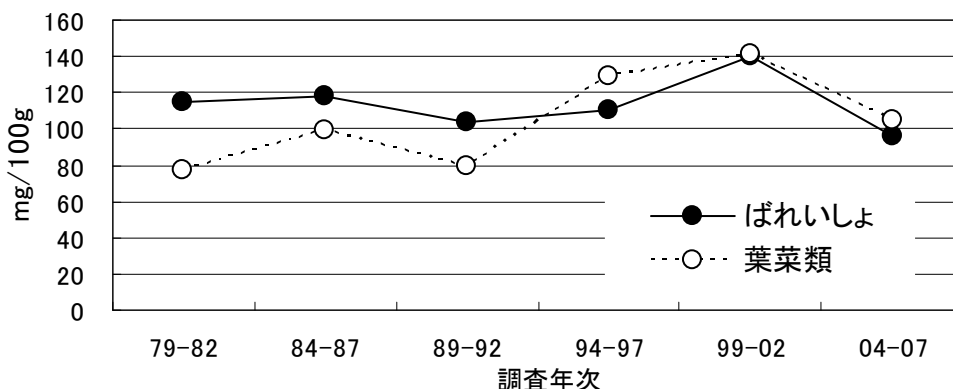


図3 本県畑土壌における25年間の可給態リン酸含量の推移

[その他]

研究課題名 : 土壌機能実態モニタリング調査

予算区分 : 国庫

研究期間 : 1979年度～

研究担当者 : 藤山正史